

保育園の引き戸などをボランティアで補修

3月16日(土) 村上市建築組合



村上市建築組合では、毎年行っている地域貢献活動の一環として、公共施設の建具や机などの補修ボランティア活動を行っています。今年は、第二保育園と瀬波保育園で、補修作業が行われました。

この日修理を行った高橋さんは、「これからも、多くの皆さんに協力してもらい活動を続けたい」と話してくれました。

感謝と期待を込めて机を磨きあげる

3月16日(土) 山北中学校



この3月に山北中学校を卒業した生徒たちが、3年間自分たちが使用した机を新入生に引き継ぐため、地域の大工さんや保護者の協力のもと机の磨きや塗装に汗を流しました。

この行事は毎年行われていて、参加した生徒は、「今までの卒業生から大切に引き継がれてきた机を、新入生も大切に使って、これからも引き継いで欲しいです」と話してくれました。

むらかみの話題

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

地域の子どもたちを見守る活動

エス-キャット
S-CAT(瀬波こどもふれあい隊)が活動開始

4月12日(金)

活気あふれる街瀬波まちづくり推進委員会



瀬波地域の子どもたちの安心安全の確保のために、活気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会、瀬波小学校、瀬波駐在所が連携し、地域のボランティアの皆さんを募集してS-CATを立ち上げました。



この活動は、子どもたちの登下校時の安全確保、あいさつの励行による子どもたちと地域の大人との交流、「地域の子どもは地域で守り育てる」という機運を高めることを基本目標としており、約90人の皆さんが登録しています。

新学期が始まり、隊員の皆さんは、「無理なく、できる範囲内」で見守り活動を行っています。

※S-CATとは、

Senami-Communicate Action Teamの略

区の融和を目的に！将棋・マージャン大会

3月24日(日) 上野区



同区の公民館主催で、昔から続いている集落行事、将棋・マージャン大会が行われました。

集落の融和を目的に毎年開催しているもので、時には真剣に、時には笑い声が響き合い、和気あいあいとした雰囲気の中で行われ、農繁期前の休日を楽しく過ごしました。

「心がけて！安全運転」

4月9日(火) 交通安全協会荒川支部



春の交通安全運動に合わせ、貝附地内の国道113号沿いに交通指導所を設け、ドライバーにチラシを配布して安全運転やシートベルトの着用などを呼びかけました。

同会の小沼支部長は、「荒川地区荒川地区では約3年間、交通死亡事故が発生していない。今後もこの記録を伸ばしていき、いつまでも安心安全な荒川地区であってほしい」と話してくれました。



山北地区のさらなる活性化を目指し開催された「地域しゅくり楽習会さんぽく」。集落や各種団体等が行っている活動の紹介や「私にとって山北とは」と題したパネルディスカッションが行なわれました。

パネラーで参加した村上市役所職員を目指す中村健太さん(今川集落出身)は、自らの思いを話す際「山北愛では誰にも負けません」と力強く話し、その言葉に参加者から「期待してるぞ!」と大きな拍手と激励の言葉が送られ、新たな担い手に大きな期待が寄せられていました。

3月17日(日) 山北地区まちづくり協議会
山北愛は誰にも負けず、市役所職員を目指して邁進中

村上から日本代表選抜メンバーが誕生

4月5日(金)



日本サッカー協会の13歳以下の日本選抜メンバーに本間至恩さん(神納中1年)が選出されました。

本間さんは、4月11日から香港で行われるAFC U-14選手権2014年大会の予選に参加。「(予選会では)点を入れたり、アシストをしたりして結果を出したい。将来は海外で活躍できる選手になりたい」と目標を語ってくれました。

※AFC U-14とは、アジアサッカー連盟が主催する、14歳以下の大会



4月13日(土) 有明区
みんなの憩いの場「有明郷清水公園」環境整備

有明区では「郷清水」という昔から清水が湧きでるところがあり、区民が憩う公園として、毎年、環境整備を行っています。
 この日も、約80人の区民が参加し、整地作業などの施設整備を行いました。
 同区では、今後も公園が皆さんの集える憩いの場とするため、区民の手で整備を進める予定です。

大きくなって戻って来てね

4月12日(金) 三面川鮭産漁業協同組合



高根川・三面川で鮭稚魚の放流式が行われ、猿沢保育園児18人と高南保育園児15人が、鮭の稚魚合計約30万匹を放流しました。

あいにくのみぞれ交じりの天候でしたが、参加した猿沢保育園のきりん組の貝沼優花さんは、「大きくなって戻って来てほしいなあ」と、笑顔で話してくれました。

荒川の桜を艶やかに演出

4月13日(土) 神林桜の会



一級河川荒川沿いに桜のオーナー制により植樹されてから約25年。神林桜の会は、長年桜の成長を見守って来ました。

この日は、同河川沿いにある「神林水辺の楽校」に同会の12人のスタッフによりぼんぼりを設置。

15年以上前から行われてきたこの取り組みは、美しい桜を多くの人に楽しんでもらおうと、始まったものです。

同会の会長の佐藤治夫さんは「神林水辺の楽校を多くの人に利用してもらいたい。また、私たちの活動に興味のある人は、ぜひ参加してください。大歓迎です」と話され、ぼんぼりは4月いっぱいまで点灯されました。



4月14日(日) 荒川ワンダーフォーゲル
登山シーズンの幕開け、高坪山オーブン

手軽に登れることで人気の高坪山の山開きが行われ、市内外から約70人の登山愛好家が集まりました。
 これは、荒川ワンダーフォーゲルが主催したもので、登山前に行われた安全祈願祭では、登山者の1年の無事を祈願。その後一斉に頂上を目指しました。
 参加者は、残雪が残る登山道を一步一步踏みしめ、マンサクやイワカガミなどの植物を楽しみながら、爽やかな春の一日を過ごしました。